



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

若手ワーキンググループの活動

はじめに

コロイドおよび界面化学部会の若手ワーキンググループ（若手WG）は、若手研究者や学生間の人的交流を図り、研究活動の活性化を目指した取り組みを行っています。若手WGの主な活動として、①「未来のコロイドおよび界面化学を創る若手討論会（若手討論会）」の企画と運営と、②部会行事「コロイドおよび界面化学討論会（コロイド討論会）」における大学院生あるいは35歳以下の研究者を対象とした「若手口頭講演賞」の選考があります。

若手討論会の企画と運営

若手討論会は、コロイド・界面化学部会の科学奨励賞や技術奨励賞の受賞者をはじめとする注目の若手研究者による最先端の研究についての招待講演と、若手研究者・学生によるグループ討論から構成されます。討論を終えた後には、（翌日のコロイド討論会への参加に影響を与えない範囲で）懇親会も実施しています。

2025年度の第9回若手討論会は、9月21日に千葉大学西千葉キャンパスにて、47名の参加者を迎えて行われました。プログラム前半の招待講演では、猿山雅亮先生（京都大学）に「無機ナノ粒子合成へのこだわりと偶然の発見」について、振角一平先生（花王株式会社）には「界面での相互作用解析技術の導入と発展～企業ではやりたい研究はできない？～」

福原隆志先生（株式会社資生堂）には「ナノ粒子の分散/凝集制御と日焼け止めへの応用」についてご講演いただきました。お三方とも、研究成果だけでなく、研究へ取り組む姿勢やこれまでどのようなキャリアを歩んできたかなど、若手会ならではの話題も交えながら、熱くお話しいただきました。「大学と企業での研究の進め方の実情がわかり、今後自身の進路を決める上でとてもためになった」というアンケートの感想からもわかるとおり、参加者にとって非常に有意義な時間になったと思います。プログラム後半のグループ討論では、3つのグループに分かれ、若手研究者・学生が発表を行いました。若手WGの委員がファシリテーターを務め、発表しやすく質問しやすい和やかな雰囲気のもと、参加者は活発な議論を交わしました。その後の懇親会では、参加者は食事をしながら、より打ち解けた雰囲気での交流を楽しみました。

2026年度はコロイドおよび界面化学部会の50周年を記念して、OKINAWA COLLOIDSが11月1～6日に開催されます。ぜひご参加下さい。国際会議となるため若手討論会の開催は未定ですが、詳細が決まり次第、改めてご案内いたします。若手討論会への参加が、コロイド化学について語り合い、参加者相互のつながりを深める機会となれば幸いです。

若手口頭講演賞の選考

2025年度のコロイド討論会において、



集合写真



グループ討論会の様子

若手口頭講演賞の選考（部会長への推薦）を行いました。選考された13件の発表者の内訳は、大学院修士課程の学生3名、博士後期課程の学生4名、一般6名でした。受賞者の方には、部会ニュースレターC & I Communicationに研究紹介記事を寄稿していただく予定です。なお、選考にあたって、多くの部会員の方々にご協力を賜りました。この場を借りて、御礼申し上げます。

おわりに

本部会の行事に参加されたことがない若手研究者の皆様、若手向けイベントにご参加いただき、今後の研究ネットワークの構築を図りませんか？ お気持ちの若い方のご参加も大歓迎です。

〔若手ワーキンググループ
渡邊 哲（京都大学）、近藤 篤（大分大学）〕

© 2026 The Chemical Society of Japan